

・住民説明会等において記載した内容と重複する場合でも記載してください。
 ・内容については、できるだけ具体的に記載してください。

太陽光発電施設の設置にあたっての配慮事項

項目	配慮事項	配慮した内容	
太陽電池 モジュール	全体	(1) 稜線や斜面上部、高台等、周辺から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないように、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	(記載例) 斜面や高台ではないが、周辺に林地や農地が広がる敷地であるため、土地の造成等はならし程度の必要最低限にとどめる計画とした。
		(2) 公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、必要に応じて完成予想図の作成(シミュレーション)等の実施を検討する。	〇km 離れた〇〇公園の展望台から視認できる場所であるため、完成予想図を作成した。
	配置	(1) 敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。	主要な道路である県道〇〇線に隣接するため、道路境界から5m後退させた。
		(2) 施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。	敷地内の十分な幅の管理用道路によりパネルを複数に分割した。
	規模	(1) 周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。	冬季の積雪を勘案し、パネルの最低部分を1.0m、最高部分は2.0mとした。
		(2) 主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。	県道〇〇線に向かってパネルを設置する計画。パネルは効率が高い20度とするが、圧迫感も比較的少ないと考える。
	形態・ 意匠	(1) 当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配置に一定の規則性を持たせる。	地盤が弱いため、ベタ基礎を採用した。 効率の良い角度で揃えて配置した。
		(2) 太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。	付近の建築物は4~5寸勾配が多く、パネルの角度20度としているため比較的近い角度となっている。
		(3) 太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。	パネルは道路側を向いているため道路から裏面は見えない。

項 目		配 慮 事 項	配 慮 し た 内 容
太陽電池 モジュール	材料・ 色彩等	(1) 低反射のものを選択するか防眩処理を施す等、太陽光の反射を低減する対策を行う。また、素材の結晶が目立たないものを選択する。	防眩処理が施され、結晶が目立たないものを選択した。
		(2) 黒又は濃紺を基本とし、低明度かつ低彩度の目立たないものとする。	黒色を選択した。
	フレーム	(1) 低反射の素材を用いる	ステンレス製とし、反射しにくいよう塗装した。
		(2) 太陽電池モジュールと同系色を用いる。	黒色とした。
付属設備	(1) フェンス等については、色彩、形態、意匠に配慮する。	施設の全周にフェンスを設置したが、景観に配慮しグレーベージュ(10YR 6.0/1.0)とした。	
	(2) 電柱電線類については、極端に増加させないよう、低減に努める。	新設は必要最低限の本数とするよう検討した。	
	(3) 架台、パワーコンディショナー及び変圧器等の付属設備については、色彩等に配慮する。	フェンスにあわせ、すべてグレーベージュで統一した。	
敷地の緑化	(1) 植栽計画にあたっては、効果が早期に発揮できるよう、根巻きを行った苗などの使用を検討するとともに、植栽間隔や苗木の大きさに配慮する。	特に道路側からの視界にパネルの存在感を低減させるため、専門家にも意見をもらい、植栽計画を行った。	
	(2) 樹種の選定にあたっては、外来種及び低木性の樹種を避け、地域に適した植生とする。	周辺地域の樹木を調査し、〇〇を採用した。	
その他	(1) 施設の規模が大きく主要な道路や住宅地に反射光の影響が懸念させる場合は、配置や向き、傾斜の角度、材料、植栽等の遮へい措置について検討する。	県道〇〇線の道路に向いているが、後退や植栽により反射光の影響は少ないと考えられる。	
	(2) 施設及び敷地内は、定期的に保守点検を行うなど、適切に維持管理を行い、景観の保守に努める。	30年間の維持管理計画を立て、それに沿って管理を行う。	